

ふるさと名物応援宣言に関する ガイドライン (中小企業地域資源活用促進法)

平成29年1月改正版

※平成27年7月制定

中小企業庁

創業・新事業促進課

目次

1. 目的	1
2. 当ガイドラインの活用方法	2
3. 定義	3
4. 「ふるさと名物応援宣言」による支援施策の全体像	4
5. 手順概要	6
6. 「ふるさと名物応援宣言」の種類	7
7. 「ふるさと名物応援宣言」を行うに当たっての注意点	9
8. 様式・記載項目	12
9. 問い合わせ先	14
10. Q&A	16
(参考) 「ふるさと名物応援宣言」様式	22

1. 目的

- 「地域産業資源」（以下「地域資源」という。）は、地域の中小企業者が共通して活用することができ、他地域の企業との差別化を図り、商品やサービスの付加価値を高めるための重要な要素となるものです。
- そのため、地域資源あるいはこれを活用した商品等のブランド化により、当該地域資源を核とした地域産業の付加価値が高まり、地域経済の自律的な好循環をもたらします。
- こうした好循環を実現するためには、地域資源を活用した「地域ブランド」づくりについて、基本的な考え方や取組の方向性を、地域の幅広い関係者（事業者、支援機関、住民等）が共有し、互いに連携しながら、域内外に対しワンボイスで発信していくことが重要です。
- そこで、地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村（特別区を含む。以下同じ。）が旗振り役あるいは後見役となって、こうした地域を挙げた取組を推進していくことが期待されます。

- こうした観点から、市町村において、地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」（地域資源を活用した商品・サービス（群））を特定し、「ふるさと名物応援宣言」として、積極的な情報発信及び地域を挙げた取組を牽引することを促進します。
- これにより、多様な事業者を巻き込み、地域ぐるみの継続的な取組を通じ、「地域ブランド」の育成・強化を図り、地域の売上や雇用の増大、地域経済の好循環につなげます。

2. 当ガイドラインの活用方法

- 当ガイドラインは、「ふるさと名物応援宣言」に取り組もうとする市町村を対象として、宣言の内容及び手順等についての基本原則を提示し、これに沿った宣言を行っていただくことを推奨するものです。
- また、「ふるさと名物応援宣言」を行おうとする市町村の便宜のため、その標準様式を提供します。（ただし、標準様式は、あくまで一例であり、各市町村の創意工夫により独自のデザインとすることはかまいません。）

3. 定義

○ふるさと名物

→「地域資源を活用した商品・サービス（群）」を指します。

※「ふるさと名物応援宣言」では、市町村が地域を挙げて支援を行う対象となる「ふるさと名物」を特定します。

○地域資源

→各都道府県が指定する以下のものを指します。

- (1) 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産品、鉱工業製品
- (2) 地域の特産物である鉱工業製品の生産に係る技術
- (3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として相当程度認識されているもの

※各都道府県が指定している地域資源については、中小機構の中小企業ビジネス支援サイト「J-NET 21」において公表しています。URL:<http://j-net21.smri.go.jp/index.html>

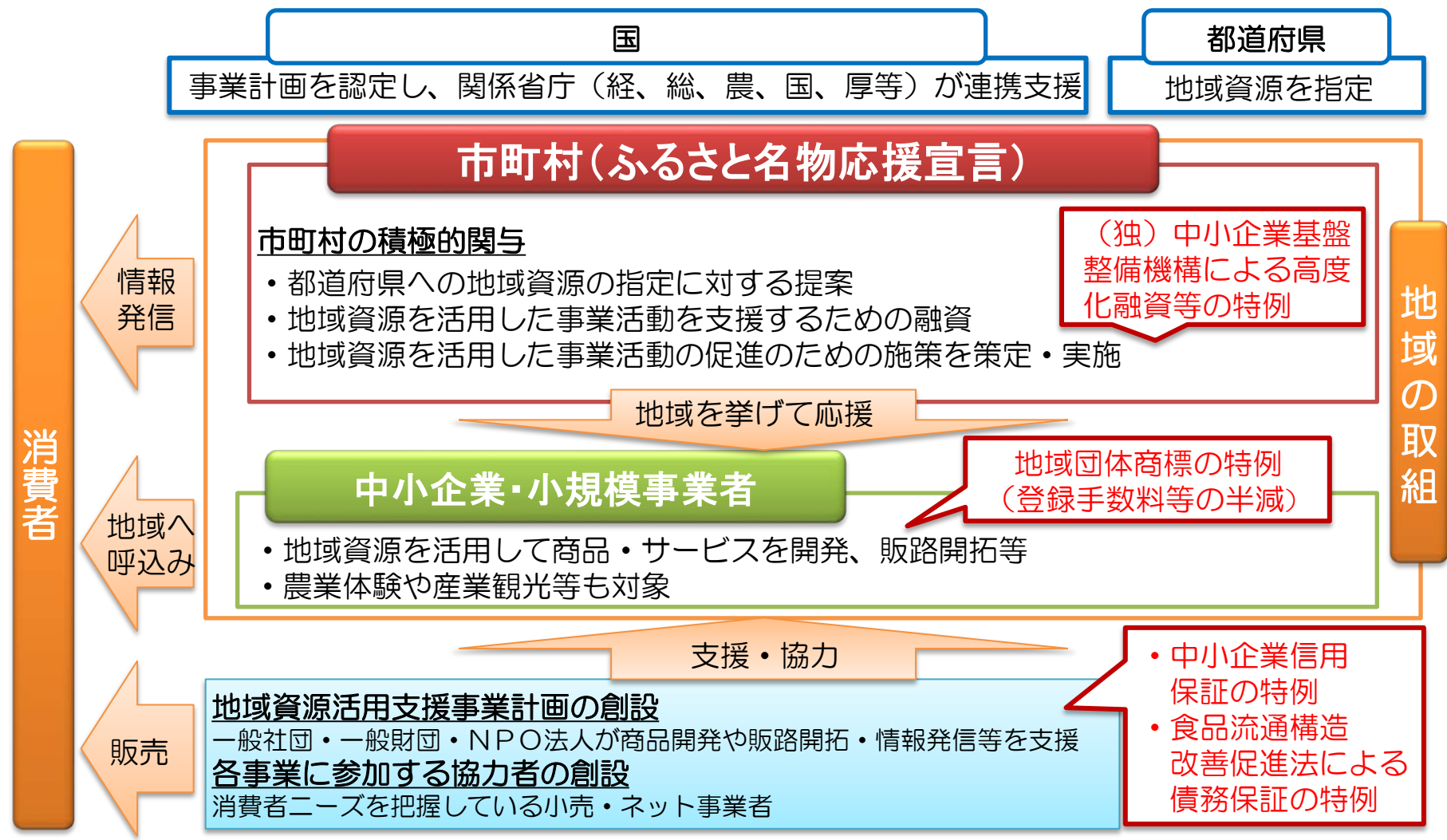
※平成27年の中小企業地域資源活用促進法（以下「法」という。）改正及び基本方針の改定により、地域資源の指定に関し、市町村が都道府県に対し、申し出を行うことができること、また、申し出を行った場合には、都道府県はこれを尊重すべきことが規定されました。

○地域資源活用事業計画

→地域資源活用事業計画とは、地域の中小企業者が共通して活用することができ、当該地域に特徴的なものとしての認識されている地域資源を活用して、中小企業者が商品・サービスの開発・生産・提供、販路の開拓等の取組を行う事業計画であって、法の認定を受けたものをいいます。

ふるさと名物応援宣言

4. 「ふるさと名物応援宣言」による支援施策の全体像



ふるさと名物応援宣言

市町村(ふるさと名物応援宣言)

- 地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村が、地域を挙げて「ふるさと名物」を応援することを宣言。
- 宣言には、①地域のプロフィール、②応援する「ふるさと名物」、③活用される「地域資源」、④市町村による具体的な支援策等を記載。

全国へ情報発信

情報発信

「ミラサポ」を通じて発信

各市町村の「ふるさと名物応援宣言」を一元的に情報発信します。

経済産業局、中小機構等の支援事業を通じて、「ふるさと名物」の認知度向上を後押しします。

※「ミラサポ」は、中小企業庁のポータルサイト

優先的に採択

補助金

ふるさと名物応援事業

「ふるさと名物応援宣言」の対象となっている地域資源活用事業計画に対し、国の「ふるさと名物応援事業」（事業者に対する補助金）において、優先的に採択します。

※優先採択に当たっては、「ふるさと名物応援宣言」が当ガイドラインに合致したものとして、原則、中小企業庁がウェブサイトで当該応援宣言を公表していることが条件となります。

優先的に研修へ参加

人材育成

ふるさとプロデューサー育成事業

地域の関係者を巻き込み、地域の特色を活かした商品の開発や販路開拓、ブランド化等の取組を進める中核的人材を育成するため、実績のある「ふるさとプロデューサー」の下で、OJT研修を実施します。「ふるさと名物応援宣言」をした市町村関係者は、当研修に優先的に参加できます。

※優先参加に当たっては、「ふるさと名物応援宣言」が当ガイドラインに合致したものとして、原則、中小企業庁がウェブサイトで当該「ふるさと名物応援宣言」を公表していることが条件となります。

5. 手順概要

「ふるさと名物応援宣言」をする際は、次の手順を参考にしてください。

1. 内容の検討・決定

「ふるさと名物応援宣言」をする対象（ふるさと名物）を何にするか、どのように支援していくのか、といった内容について、地域資源を活用する事業者や、当該事業者を支援する関係団体など、地域における多様な関係者（注1）の意見を聴取するなど、その地域の実情に応じ決定してください（注2）。宣言作成に当たっては、当ガイドラインの趣旨に沿うものかどうか経産局に適宜照会・確認してください。



（注1） 関係者の例としては、商工会、商工会議所、農業協同組合、観光協会、地域づくりNPO法人、住民等が挙げられます。

（注2） 内容の検討に当たっては、①関係者等へのヒアリングを行う、②関係者等が参加する協議会を開催し、意見を集約する、③住民から広く意見を聴く、などの方法が想定されます。

2. 「ふるさと名物応援宣言」の実施

市町村のホームページや記者発表を通じて、広く「ふるさと名物応援宣言」を公表してください。宣言の公表に当たっては、関係団体等とも連携し、多くの人に情報が発信されるような工夫を行うよう努めてください。また、公表については、経産局にもお知らせください。



6. 「ふるさと名物応援宣言」の類型

「ふるさと名物応援宣言」は、対象とする主な地域資源の種類により、大きく次の3類型に分けられます。

ただし、一つのテーマ（地域ストーリー）で繋がれた、複数の異なる種類の地域資源を組み合わせた「ふるさと名物」を対象とすることも可能です。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 農林水産品活用型 | →農林水産品そのものを対象とすることは不可とし、農林水産品の加工商品やその生産活動の体験サービスを対象とする。 |
| (2) 鉱工業品活用型 | →鉱工業品そのものを対象とすることも可能ですが、外縁が明確になるよう、対象の範囲が明確であるものを対象とする。 |
| (3) 観光資源活用型 | →観光資源を活用する旅行商品等を対象とする。 |

【参考】各類型による「ふるさと名物応援宣言」の事例

類型	事例
農林水産品 活用型	館山の風土を器（越中瀬戸焼）で味わう、上手い米と水【富山県立山町】 日本中に海の幸 いかの加工品を届けます【青森県むつ市】 やまえ栗の加工品群【熊本県山江村】 中山間地域の耕作放棄地解消と所得向上を目指して【佐賀県基山町】
鉱工業品 活用型	甲州ワイツ～日本固有のブドウ「甲州種」の可能性を広げる【山梨県甲州市】 美濃焼 伝統と産業が育んだ土岐のとおきのおきの陶器【岐阜県土岐市】 『きりたんぽ』～本場大館・地域に根ざす食文化～【秋田県大館市】 漆「浄法寺漆」～漆と地酒(W-japan)と伝統食～五感で堪能する二戸物語 (Story)【岩手県二戸市】
観光資源 活用型	落語「鰻沢」の舞台 の「落語のまち」【山梨県富士川町】 東郷湖～ゆりはまWalking Resort～【鳥取県湯梨浜町】 沖縄リゾートウエディング応援宣言【沖縄県名護市、読谷村、恩納村】 「白河小峰城と城下町ツーリズム」～藩主松平定信の歴史と文化・産業（白 河そば・日本酒等）を求めて～【福島県白河市】

7. 「ふるさと名物応援宣言」を行うに当たっての注意点

○「ふるさと名物応援宣言」

- 「ふるさと名物応援宣言」に記載する内容は、「ふるさと名物」の独自性を印象づけ、そのブランド価値（差別化）につながるよう、当該地域の歴史・気候風土・生活文化・地理的特徴等の背景説明、活用する地域資源の特性等について、なるべく具体的に整理してください。
- 「ふるさと名物応援宣言」の対象となる「ふるさと名物」については、統一感があるイメージを想起させ、地域ブランドとしての発信効果を高めるためにも、絞り込み（選択と集中）を推奨します。

《過去に出された、絞り込みがなされているふるさと名物応援宣言事例》

- 清流の女王「あまご」の加工品【奈良県野迫川村】
- 「播州織」～選ばれた環境と風土が育んだ技術と文化【兵庫県西脇市、多可町】
- かこがわ × コットン = かこっとん【兵庫県加古川市】
- 128年続く縫製技術【香川県東かがわ市】
- 土佐和紙/土佐和紙の技術を用いた製品群【高知県土佐市】

○複数の市町村による共同での「ふるさと名物応援宣言」

- 市町村が主体性を持ち、地域ぐるみで「ふるさと名物」の「地域ブランド」化に向けて取り組むことを促すという応援宣言の趣旨に鑑み、基本的には、市町村ごとに「ふるさと名物応援宣言」を行ってください。
- ただし、「地域ブランド」の発信の観点から、複数市町村の共同による宣言とすることも可能です。
- 例えば、観光については、地域の広域的な連携による振興の必要性も考えられるため、観光資源活用型に関する「ふるさと名物応援宣言」に限り、複数の市町村が共同で発信することも考えられます。

○支援について

①市町村の支援

- 「ふるさと名物」の製造や販売に取り組む事業者を地域を挙げて広く応援し、地域のブランド力を向上させ、地域の売上や経済の好循環につなげてください。
- 具体的な支援策としては、認証・認定制度や、関連条例の制定、販路開拓等の取組への助成・融資、共用インフラの整備などです。

②国による重点支援

→国は、「ふるさと名物応援宣言」の対象となる「ふるさと名物」を開発・販路開拓する事業に対し、重点支援するものです。「

※ふるさと名物応援宣言」の対象とならない事業であっても、地域資源活用事業計画の認定等、一般的な支援の対象にはなり得ます。また、市町村等による支援の対象とすることを否定するものではありません。

→平成27年の中小企業地域資源活用促進法の一部改正によって、市町村から都道府県へ、地域資源の内容について意見の申し出をすることができますようになりました。「ふるさと名物」として応援宣言を行いたい産品等が、地域資源として指定されていない場合には、市町村は、都道府県に意見の申し出を行うことができます。



8. 様式・記載項目

○「ふるさと名物応援宣言」の様式

→「ふるさと名物応援宣言」の様式は、次の記載項目を踏まえ、市町村において自由に作成してください。頁数に制限はありませんが、巻末の様式を参考に作成してください。

○「ふるさと名物応援宣言」には、次の項目について記載してください。
その際、各項目に関係する写真等を掲載するなど、ビジュアル的に分かりやすいものとなるよう工夫を行ってください。

① タイトル、市町村名、作成年月日

→タイトルとして「ふるさと名物応援宣言」という文言、作成市町村名、作成年月日を記載してください。独自の副題（キャッチコピー等）、首長のメッセージなどを加えていただくと、より効果的です。

② 地域のプロフィール、背景

→「ふるさと名物」の紹介として、地域の気候、地理、歴史、産業、文化、名所、交通などのうち、「ふるさと名物」と関係の深い事項について説明してください。

③ 主な地域資源

→地域資源のうち、「ふるさと名物」の核となるもの、又はその候補となるものを記載してください。列記するだけでなく、数個に絞り込み、特徴などを説明してください。一つのテーマの下、「主な地域資源」に関連する、あるいは派生する他の地域資源を合わせて紹介し、その認知度の向上を図ることも有効です。

④ 「ふるさと名物」

→宣言の対象となる「ふるさと名物」を明記してください。3. 定義（P 3）のとおり、地域資源を活用した商品・サービス等について、その詳細がわかる内容を記載してください。

⑤ 市町村による支援

→「地域ブランド」育成のための市町村による支援・取組を記載してください。例えば、認証・認定制度や、関連条例の制定、販路開拓等の取組への助成・融資、共用インフラの整備（例えば、共用冷凍設備の整備等）などについて、具体的に記載してください。

⑥ その他

→①～⑤の項目の他、「ふるさと名物」についてPRする内容等を記載可能です。（開発の経緯、関係のある人物などに関するエピソード等）

9. 問い合わせ先

問い合わせ先	住所	電話番号	管轄 都道府県
北海道経済産業局 産業部 中小企業課	〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎	011-756-6718	北海道
東北経済産業局 産業部 新事業促進室	〒980-8403 仙台市青葉区本町3丁目 3番1号 仙台合同庁舎B棟3F	022-221-4923	青森,岩手,宮城,秋田, 山形,福島
関東経済産業局 産業部 経営支援課	〒330-9715 さいたま市中央区新都心1丁目1番 さいたま新都心合同庁舎1号館	048-600-0332	茨城,栃木,群馬,埼玉, 千葉,東京,神奈川, 新潟,長野,山梨,静岡
中部経済産業局 産業部 経営支援課	〒460-8510 名古屋市中区三の丸2丁目5番 2号	052-951-0521	愛知,岐阜,三重,富山 石川
近畿経済産業局 産業部 産業振興室	〒540-8535 大阪市中央区大手前1丁目5番 44号 大阪合同庁舎1号館	06-6966-6054	福井,滋賀,京都,大阪, 兵庫,奈良,和歌山

ふるさと名物応援宣言

問い合わせ先	住所	電話番号	管轄 都道府県
中国経済産業局 産業部 経営支援課	〒730-8531 広島市中区上八丁堀6丁目 30番 広島合同庁舎2号館	082-224-5658	鳥取,島根,岡山,広島, 山口
四国経済産業局 産業部 新事業促進室	〒760-8512 高松市サンポート3丁目33番 高松サンポート合同庁舎	087-811-8562	徳島,香川,愛媛,高知
九州経済産業局 産業部 中小企業経営支援室	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2丁目 11番1号 福岡合同庁舎本館7階	092-482-5491	福岡,佐賀,長崎,熊本, 大分,宮崎,鹿児島
内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 中小企業課	〒900-0006 那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館	098-866-1755	沖縄
中小企業庁 経営支援部 創業・新事業促進課	〒100-8912 東京都千代田区霞が関1丁目 3番1号	03-3501-1767	—

10. Q&A

(1) 「ふるさと名物」の例としてどのような物がありますか。

- 農林水産品は加工（原材料として用いる）されていることが必要です。
- 鉱工業品はそのものでも可能（今治タオル、陶磁器、ワイン、さぬきうどん等）ですが、外縁が明確になるよう、対象の範囲が明確であることを必要とします。
- 観光資源は、これを活用する旅行商品等を対象とします。
※具体的な事例は、【参考】各類型による「ふるさと名物」の事例（P8）に記載しています。

(2) 国が「ふるさと名物」を支援するのはなぜですか。

- 中小企業地域資源活用促進法は、厳しい環境の中で中小企業・小規模事業者が持続的成長を遂げるために、地域資源を活かして地域経済の活性化を図ることを目的としています。こうした観点から、地域の強みである農林水産品、鉱工業品、観光資源等の地域資源を活用した商品・サービスを開発・製造する中小企業・小規模事業者の事業活動を国が支援し、地域経済の活性化につなげるために制定されました。

- 今般、政府を挙げて地方創生に取り組む中、「日本再興戦略」改訂2014においても、地域資源を活かした「ふるさと名物」の開発・販路開拓の推進などにより、地域全体の活性化を図ることとしており、本法を改正することとしました。
- 本改正は、それぞれの地域の特性を踏まえ、地域自らが考え抜いた主体的な取組を、国としても支援する仕組みを作ろうというものです。
- 具体的には、市町村が、「ふるさと名物応援宣言」を行い、商工会・商工会議所、農協、観光協会、地銀・信金等とともに、地域ぐるみで「ふるさと名物」を応援する取組に対し、国としても重点的に支援していきます。
- これにより、国と地域が一体となって「ふるさと名物」をテコとして地域活性化を図る積極的な取組を全国に広げていきます。

(3) 市町村が「ふるさと名物応援宣言」を行う目的は何ですか。

- 地域の事業者や関係団体、金融機関、NPO法人など、地域の様々な関係者を広く巻き込み、「地域ブランド」を育てるという一つの方向性に向かって、自発的に協働するような「大きなうねり」を作っていくことが重要です。

→また、地域経済活性化の推進力となり得る地域資源を発掘、特定し、その地域に根ざす歴史や文化のストーリーによって組み合わせる等により磨き上げ、魅力的な「地域ブランド」として、域外に発信することは重要な役割です。

→地域資源の活用による地域経済の活性化を進める上で、地域に根ざし、事業者や住民に密着した行政を展開する市町村の果たす役割は極めて重要です。

(4) 「ふるさと名物」を一つに選びきれない場合には、どうすればよいですか。

→地域資源又は「ふるさと名物」を組み合わせることも可能ですが、ブランド化のための発信効果を高めるために、1つのテーマ（地域ストーリー）に連なるように、創意工夫を行った「ふるさと名物応援宣言」を行ってください。

【事例】

① 1つのストーリーで繋がれた複数の「ふるさと名物」の例

○お茶の郷

- ・抹茶スイーツや茶製品のお土産
- ・お茶を飲むための茶器
- ・茶摘みや茶会体験などの観光ツアー

② 複数の地域資源を活用した1つの「ふるさと名物」の例

○地域資源である「マグロ」「人参」「もずく」を使用した
地元の名物料理（マグロステーキ丼）

(5) 「ふるさと名物応援宣言」はいつまでに公表しなければならないですか。

→特に期限はありません。

→なお、市町村の「ふるさと名物応援宣言」の対象となっている地域資源活用事業計画について、国の「ふるさと名物応援事業」（事業者に対する補助金）の優先的な採択を受けようとする場合には、補助金の申請が行われるまでに「ふるさと名物応援宣言」を公表し、「ふるさと名物応援宣言」が当ガイドラインに合致したものとして、原則、中小企業庁のウェブサイトで公表されていることが条件となります。

（６）「ふるさと名物応援宣言」の実施期間は定める必要がありますか。

→特に定める必要はありませんが、取組の進捗状況等に応じて、適宜見直しをしてください。

※「ふるさと名物応援宣言」の内容については、新しい支援策を行う場合や状況の変化等に応じて、適宜見直すことは差し支えありません。また、応援宣言を行った後に、あらたな宣言を出し直すことも可能です。その場合も、過去の応援宣言も中小企業庁の支援対象となります。

(7) 応援したいふるさと名物が、地域産業資源に登録されていません。
有名なものではないので、都道府県に地域産業資源に認定いただけるかどうか不明です。

→平成27年度の法改正によって、一般的に認知されていない産品であっても、市町村がこれから名物にするために積極的に応援したい産品であれば、都道府県は市町村の意見を尊重することとしています。都道府県との調整が上手く行かない場合には、中小企業庁までお問い合わせください。

【事例】

佐賀県基山町では、これから町の名物として強力に支援したいと考えているエミューについて、まだ生育数が少なく知名度も低い産品であったが、県と協議の結果、地域産業資源に登録することになり、エミューを使った加工品群をふるさと名物として宣言した。

(8) 「ふるさとプロデューサー育成支援事業」とは何ですか。

→地域の多くの人を巻き込み、きらりと光る地域資源を活かした魅力ある産品を「地域ブランド」化して、域外に販路を広げ、あるいは人を呼び込むことができる「ふるさとプロデューサー」の人材育成を支援する事業です。実績のある「ふるさとプロデューサー」の下でインターンシップ研修を実施します。

ふるさと名物応援宣言一覧(平成29年1月1日現在、84市区町村)

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
2015/8/28	富山県立山町	立山の風土を器(越中瀬戸焼)で味わう、うまい米と水	玉殿の湧水、富山米、越中瀬戸焼
8/28	山梨県甲州市	甲州ワイン～日本固有のブドウ「甲州種」の可能性を広げる	甲州ワイン、ワインツーリズム
8/28	山梨県富士川町	落語「鰻沢」の舞台”の「落語のまち」	「落語のまち」観光プログラム、「落語」関連商品
9/14	岐阜県土岐市	美濃焼 伝統と産業が育んだ土岐のとおきおきの陶器	美濃焼の商品群・産業観光
9/14	秋田県大館市	『きりたんぽ』～本場大館・地域に根ざす食文化～	きりたんぽ
9/14	岩手県二戸市	漆「浄法寺漆」～漆と地酒(W-japan)と伝統食～五感で堪能する二戸物語(Story)	浄法寺漆
9/16	青森県むつ市	日本中に海の幸 いかの加工品を届けます	いか加工品
9/18	愛知県高浜市	～日本を創る・飾る・魅せる～「三州瓦」	三州瓦
9/27	熊本県山江村	やまえ栗の加工品群	くり
10/1	佐賀県基山町	中山間地域の耕作放棄地解消と所得向上を目指して	エミュー肉を使った商品群、エミューオイルを使った商品群
10/2	佐賀県有田町	有田焼～400年の歴史を振り返り、未来の扉を開くために～	有田焼
10/29	埼玉県吉見町	自慢の「吉見いちご」～ブランド化と活性化に向けて～吉見いちごの加工品	吉見いちご
11/1	新潟県燕市	金属洋食器、金属ハウスウェア、燕鋳起銅器、金属製品を「ふるさと名物」として発信するため、「つばめ金属製品応援宣言」	金属洋食器、金属ハウスウェア、燕鋳起銅器、金属製品
12/1	愛知県瀬戸市	『瀬戸焼』千年以上の歴史と伝統を有するやきもののまち瀬戸の陶磁器	瀬戸焼の商品群、瀬戸焼に関わるやきもの文化
12/3	島根県津和野町	歴史と文化が息づく「つわの栗の里」	つわの栗

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
12/14	青森県深浦町	「深浦マグロステーキ丼」～マグロは大間だけじゃない！深浦町はマグロの水揚げ青森県ナンバーワン！～	深浦マグロステーキ丼
12/15	北海道寿都町	「美食と体験と健康」～海の恵みと温泉を活用した観光プログラム	特産品（シラス・ホッケ・寿カキ）、寿都温泉ゆべつのゆ
12/15	北海道砂川市	“Sweet Road お菓子で花咲くまち物語”～すながわスイートロード～	すながわスイーツ
12/15	北海道沼田町	「輝け雪のまち沼田町」の雪中商品～雪は沼田の宝物～	沼田の雪氷冷熱装置、雪中商品
2016/1/1	長野県高森町	市田柿発祥の里からお届けする自慢の市田柿の加工品	市田柿（干柿）、市田柿の加工品
1/1	奈良県野迫川村	清流の女王「あまご」の加工品	あまごの加工品
1/7	岐阜県多治見市	地域色豊かな美濃焼の商品群 美濃焼生産地・産地卸の景観を活かした産業観光	美濃焼の商品群、産業観光
1/15	鳥取県湯梨浜町	東郷湖～ゆりはまWalking Resort～	東郷湖をめぐるウォーキングツーリズム
1/15	山梨県市川三郷町	「和紙」の文化がつむぐ伝統産業 「市川和紙」と六郷「甲州手彫印章」	市川和紙、甲州手彫印章
1/18	群馬県桐生市	桐生の繊維関連製品応援宣言	桐生の繊維関連製品
1/20	沖縄県名護市 沖縄県読谷村 沖縄県恩納村	沖縄リゾートウエディング応援宣言	「"YONNA"よんな～」リゾートウエディング
1/28	三重県鈴鹿市	伊勢形紙とその商品群	伊勢形紙
1/28	兵庫県西脇市 兵庫県多可町	「播州織」～選ばれた環境と風土が育んだ技術と文化～	播州織
1/29	兵庫県加古川市	かこがわ × コットン = かこっとん	かこっとんの商品群

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
2/3	宮城県登米市	『はっと、油麴などの小麦の加工品群』	小麦の加工品
2/7	青森県風間浦村	～風間浦村の三ツ星を日本全国へ～	下風呂温泉郷まるごと体験ツアー・風間浦鮫鱈(あんこう)・青森ヒバ材加工品
2/9	福島県白河市	「白河小峰城と城下町ツーリズム」～藩主松平定信の歴史と文化・産業(白河そば・日本酒等)を求めて～	白河小峰城と城下町ツーリズム
2/10	鳥取県倉吉市	レトロとクールが融合・調和するまち～新たな伝統への挑戦～	キャラクターグッズ・レトロ & クールツーリズム
2/17	兵庫県朝来市	「生野銀山」「竹田城跡」「岩津ねぎ」ー銀が導く永遠の絆	竹田城主体験ツーリズム・雲海商品
2/18	和歌山県和歌山市	『ニット製品』～全国シェア第1位日本最大の丸編みニット産地～	ニット製品
2/18	鹿児島県奄美市 鹿児島県龍郷町	「道の島」の歴史と亜熱帯の自然が育んだ“黒”の宝	本場奄美大島紬の商品群・奄美黒糖焼酎の商品群
2/19	北海道深川市	白と黒の二つのコメが特産品を育む！	深川産米を活用した商品群
2/22	広島県三次市	江の川水系がもたらす自然の恵み	体験型プログラム・ピオーネの加工品・日本酒
2/24	岐阜県飛騨市	～ブランド化と活性化にむけて～	飛騨とらふぐの加工品
2/24	岐阜県美濃市	1300年の伝統を誇る美濃和紙の産地	美濃和紙の商品群・美濃和紙を活かした産業観光
2/25	岐阜県白川村	「霊峰白山のふもと、美しくびしい自然と、香り高い文化に恵まれた環境で育まれる『ヒト・モノ・コト』応援宣言」	白川郷の米の加工商品
2/26	山形県鶴岡市	伝統と革新を紡ぐ「鶴岡シルク」とシルクタウン・プロジェクト	鶴岡シルク
2/26	富山県高岡市	「高岡銅器」による商品群	高岡銅器

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
2/26	三重県御浜町	南紀みかんと柑橘加工品を活用した商品群	南紀みかんと柑橘加工品の商品群
2/26	熊本県南関町	竹の持つ特性を活かした商品群	竹の加工品
2/29	愛知県一宮市	尾州の毛織物等繊維関連製品応援宣言	繊維関連製品
2/29	熊本県湯前町	球磨スギの製品群	球磨スギの製品群
3/15	熊本県合志市	機能性に着目した穀物加工品群	米、麦、ソバなどの機能性穀物
3/18	岡山県矢掛町	宿場町矢掛の街並み観光 往時の繁栄を今に伝える宿場町	矢掛本陣、矢掛脇本陣
3/18	千葉県市原市	小湊鉄道が結ぶ市原の魅力	小湊鉄道と地域資源を結ぶ観光ツアー ほか
3/26	福島県喜多方市	日本酒 清らかな水と旨い米 酵母が飲む蔵がある 酒が引き立つ器がある 地酒に愛されたまち 喜多方	日本酒
3/29	山形県白鷹町	紅花 生産量日本一～日本の紅(あか)をつくる町～	紅花の加工品群・紅花の体験観光
5/6	福井県鯖江市	越前漆器産地 ふるさと名物応援宣言	越前漆器の商品群、漆塗りの技術を使った新製品
5/17	茨城県笠間市	笠間の栗加工品郡	笠間の栗加工品
5/31	香川県東かがわ市	128年続く縫製技術	手袋、カバン、袋物、縫製品

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
6/29	山梨県山梨市	フルーツ王国山梨市のぶどう・ももの加工品群・観光農業	ぶどう・ももの加工品群・観光産業
7/2	大阪府枚方市 交野市	七夕伝説と天の川ツーリズム	天の川七タロード、天の川線
8/1	北海道豊富町	豊富な地域資源を活用したヘルスツーリズム応援宣言	豊富な地域資源を活用したヘルスツーリズム
8/1	高知県四万十町	四万十の栗スイーツ&焼酎	四万十の栗スイーツ&焼酎
8/1	高知県土佐市	土佐和紙/土佐和紙の技術を用いた製品群	土佐和紙、土佐和紙の技術を用いた製品群
8/5	秋田県湯沢市	＜稲庭うどん＞～守り継がれる伝統の技と食～触れて、食する職人	稲庭うどん
8/10	千葉県大多喜町	首都圏有数の生産量！自慢の「たけのこ」 大多喜たけのこの加工品	たけのこの加工品
8/14	青森県大間町	こんぶ加工品、青森ヒバ材加工品	こんぶ加工品、青森ヒバ材加工品
8/24	広島県熊野町	筆の都 熊野町～180年の伝統と筆文字文化の継承～	熊野筆と熊野筆の技術を応用した商品、熊野筆に関する産業観光
8/29	山口県長門市	「北長門の海と大地」で育まれた食材によるコラボ商品群	食物がつなぐ長州鶏に代表される農林水産物などのコラボ商品群、長門温泉郷五名湯で長門を味わう観光プログラム

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
9/1	東京都大田区	海苔産業のふるさとから届ける自慢の味	大森海苔
9/1	奈良県下市町	「薬膳」でみんなが健康・元気	薬膳
10/8	千葉県栄町	龍伝説の元気の源～大粒で鮮やか！健康黒大豆～	どら豆の加工品郡
10/18	石川県珠洲市	里山里海を活かした伝統産業～先人の知恵と技術～	揚げ浜式製塩・木炭
10/20	山形県寒河江市	さくらんぼ＆つや姫＆ニットの里「寒河江」	さくらんぼ、つや姫、ニット
10/30	青森県平内町	「平内ホタテ活御膳」～平内町は育成ホタテ水揚げ日本一！～	平内ホタテ活御膳
11/25	宮崎県都城市	日本一の肉と焼酎のふるさと～みやこんじょ盆地が育んだおいしさ 日本一の牛肉、豚肉、鶏肉とその商品群、都城産焼酎と商品群・観光蔵	牛肉・豚肉・鶏肉・焼酎
11/28	島根県松江市	松江城下の歴史と文化を活かした城下町ツーリズム	松江城、抹茶、宍道湖
11/29	福岡県田川市	パプリカの特長を活かした商品群	パプリカ
11/29	福岡県芦屋町	芦屋釜をはじめとする芦屋鋳物	芦屋釜
11/29	福岡県川崎町	『国指定名勝「藤江氏魚楽園」を舞台に～「自然」と「歴史文化」にふれあう町に！』	藤江氏魚楽園

公表日	市町村名	タイトル	ふるさと名物
12/20	北海道羽幌町	甘えびの加工品群	甘えびの加工品群
12/22	千葉県匝瑳市	匝瑳の植木～明治から続く伝統の結晶～	匝瑳の植木
1/1	北海道登別市	市民が世界に誇る温泉を生かした登別観光	登別温泉を活用した体験型観光等

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

様式



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

ふるさと名物

Furusato Meibutsu

写真/コンテンツスペース

〇〇県〇〇市
が応援するふるさと名物

◎〇〇〇

◎×××××

◎〇〇〇〇〇



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成27年●月●日

応援宣言

〇〇県〇〇市

地域の
プロフィール



主な地域資源



ふるさと名物



その他

1

独自の支援策



2

協議会
事務局



3

広報・
タイアップ

